

2021 東海シンポジウム

主題 = 電池に貢献する高分子材料

太陽電池、燃料電池、二次電池、電気分解セルなどエネルギー変換・貯蔵デバイスは、持続可能な社会を構築するために必要な技術です。これらデバイスが普及するための鍵を握る重要構成材料として、高分子材料の役割はますます大きくなっています。今回のシンポジウムは、「電池に貢献する高分子材料」と題し、本分野の第一線で活躍されている先生方に講演をお願いしました。非常に充実した内容となっていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

主催 高分子学会東海支部

協賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部 日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 電気化学会東海支部 化学工学会東海支部 電気学会東海支部 プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部 日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時 2022年1月20日(木)、1月21日(金)

会場 オンライン

1日目 1月20日(木)

<10:00-12:10>

はじめに (信州大学) 鈴木正浩

- 1) 蓄電池と高分子材料 (京都大学) 安部武志
- 2) 固体高分子形燃料電池およびアニオン交換膜型水電解への
高分子電解質膜材料 (東京工業大学) 山口猛央

<13:25-15:25>

- 3) 燃料電池の高耐久化、高出力化を目指した高分子電解質の開発 (九州大学) 西原正通
- 4) 新規高分子電解質膜の開発: 耐久性向上のための設計指針 (山梨大学) 宮武健治

<15:40-16:40>

- 5) 蓄電池の界面設計を指向した高分子材料設計 (北陸先端大) 松見紀佳

2日目 1月21日(金)

<10:00-12:00>

- 6) 高効率ポリマー太陽電池の新展開 (京都大学) 大北英生
- 7) 有機薄膜太陽電池の高効率化に向けた π 共役系ポリマーの開発 (広島大学) 尾坂 格

<13:25-15:25>

- 8) 固体高分子にこだわった電解質材料の創製と応用 (東京農工大) 富永洋一
- 9) レドックス高分子材料を用いた有機ポリマー電池 (早稲田大学) 小柳津研一

<15:40-16:40>

10) 実験に基づく機械学習によるポリマー太陽電池の設計と合成

(大阪大学) 佐伯昭紀

参加要領

1) 定員 100名

2) 参加費 (含予稿集代) ① 企業 10,000円 ② 大学・官公庁 5,000円 ③ 学生 無料

3) 申込方法 web ページからお申込みください。参加費は銀行振込

【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】

にてお支払いください。

※参加登録のキャンセルは、1月11日(火)までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。納入していただきました参加費を返金させていただきます。

なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

4) 申込締切 1月7日(金)

5) 振込期限 1月7日(金)

お問い合わせ先

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル

(公財) 中部科学技術センター内 高分子学会東海支部

東海シンポジウム係宛

TEL: 052-231-3070 FAX: 052-204-1469

E-mail: chuka-c☆cstc.or.jp

(☆を@にかえてご利用ください)